
開講科目名：経営財務論研究（4単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：中垣 昇

《授業の概要》

社会経済のグローバル化の進展と情報通信技術の発達に伴い、経営財務（コーポレート・ファイナンス）に関する理論と技法が急速に発達し、それに対応できる理論およびシステムの新たな構築が求められている。また、たび重なる金融危機を背景に経営環境は激変し、企業のみならず、政府、国際金融機関、さらには個人レベルにおいて経営財務に対する関心が高まっている。

本講義を通じて、各自が経営財務の理論・技法を学び、その長所・限界・問題点を考察できるようになっていただければ幸いである。

経営財務の学問分野は、数値によって理論構成される領域が多く、演習問題を解くことにより理解がさらに容易になる。適宜課す演習問題には、積極的に取り組んで欲しい。

1. 経営財務の基礎－経営財務の歴史、基本命題
2. 金融システム－金融市場、資本市場
3. 財務諸表分析－財務報告、情報開示
4. 財務諸表分析－流動性分析、資産管理分析、負債管理分析
5. 財務諸表分析－収益性分析、市場価値分析、財務諸表分析の限界
6. 貨幣の時間価値－キャッシュ・フロー、将来価値、複利化
7. 貨幣の時間価値－年金将来価値
8. 貨幣の時間価値－現在価値、年金現在価値
9. リターン－比率リターン、金額リターン
10. リスク－確率変数、ベータ、資本資産評価モデル
11. 価値－企業価値、社債の価値
12. 価値－株式の価値
13. 資本予算－回収期間、平均利益率
14. 資本予算－純現在価値、内部利益率、収益性指標、資本予算の限界
15. 資本コスト－源泉別資本コスト
16. 資本コスト－加重平均資本コスト
17. レバレッジ－損益分岐分析
18. レバレッジ－レバレッジの応用
19. 資本構成－資本構成の内容
20. 資本構成－企業価値
21. 利益還元（配当）政策－理論的根拠
22. 利益還元政策－経営システムと利益還元政策
23. 運転資本管理－現金管理、売上債権管理
24. 運転資本管理－棚卸資産管理、短期資本調達
25. 長期資本調達－調達源泉、利子の期間構造
26. 長期資本調達－株式、社債
27. リース－固定資産投資
28. オプション－金融商品
29. 国際経営財務－外国為替
30. 企業再編－合併・買収

2. 評価方法

出席状況30%、小テスト・レポート10%、期末レポート60%

《テキスト》

中垣 昇『財務管理論の基礎（第7版）』（創成社）

《参考書》

中垣 昇『経営財務の基礎理論』（税務経理協会）
中垣 昇『日本企業のダイナミズム』（文眞堂）
中垣 昇『日本企業と経営者の役割』（税務経理協会）